

デフ競技の紹介!



<デフのルール>

競技規則は一般の大会と同じで行われるが、デフの競技会には以下のルールがある。

- 競技中は補聴器などの機材を着用することができない。
- 補聴器や人工内耳の体外パーツ等を外した裸耳状態の聴力が良いほうで55dB以上であること（身体障害者手帳を所持していなくても条件を満たしている場合は参加できる）。

<補聴器とスタート>

一般の大会であれば、補聴器の着用が可能であるが、着用したからといって、聴者と同様に聞こえるわけではない。聴者は音を聞き分ける能力があり、スタートの音に集中することができるが、補聴器には音を聞き分ける能力がない。補聴器は周囲の音を全て拾うため、全ての音がまとまって聞こえる。話し声や歩く音、車の音など全ての音がまとまって聞こえるため、スタートの音に集中することが難しい。

<競技会において大変なこと>

- 可視化されにくい障がい…聴覚障がいを持っているかどうか、パッと見ての判断が難しい。
- アナウンス…大会会場におけるお知らせ（選手紹介や時間変更など）が「声（聴覚情報）」によるアナウンスだけでは選手に情報が伝わらない場合がある。
- 招集（コール）までが大変…競技規則通りで実施する場合、携帯電話等の通信機器の持ち込みが不可である。聞こえにくいためマスク越しでの会話やコミュニケーションが取りにくく、競技役員の指示が分からない、指示されているのかもわからない場合もある。
- 視覚的情報…記載されていること以外の内容を言葉で説明されると、理解することが難しい。招集所でのアスリートビブス・腰ナンバーの確認、誘導や行先等が視覚的情報（メモやノートを書くなど）であると、迷うことなく行動することができる。
- 審判員とのコミュニケーション…競技をする上で、審判員からの大切な情報を正しく把握するためには、手話通訳者を介して伝える必要があるが、手話通訳者の準備ができない場合は筆談ボードや音声文字変換アプリなどを使用して正確な情報を伝え、競技に集中できる環境を整える必要がある。

<競技の特徴：スタートランプ（視覚的保障）>

音や審判員からの合図が聞こえないという、競技上、選手にとって不利な状況を、視覚的に補うこと。光刺激スタートシステム（スタートランプ）を使用するなど視覚的に情報が保障された競技環境が必要となる。

<応援方法>

聴覚障がい者は拍手の音が聞こえないため、両手で手をひらひらすることで手話の「拍手」になる。手話で「がんばれ」をすると、選手はより嬉しいです。



デフ	男子100m	7月6日(日)	15:00
	女子100m	7月6日(日)	15:00
	男子800m	7月6日(日)	15:35
	女子800m	7月6日(日)	15:35

ENTRY LIST [男子100m]

NO.	競技者名	競技者名カナ	都道府県	所属
3003	荒谷 太智	アラヤ タイチ	東京	東海大学
3004	山田 真樹	ヤマダ マキ	東京	びあ
3005	定立 祥史	アダチ ヨシフミ	島根	松江市陸協
3006	堀口 昂誉	ホリグチ タカノリ	東京	東京陸協
3007	松嶋 波龍	マツシマ ヒリュウ	東京	中央ろう高

ENTRY LIST [女子100m]

NO.	競技者名	競技者名カナ	都道府県	所属
3000	遠藤 心音	エンドウ ココネ	岐阜	済美高
3001	猿樂 彩香	サルガク アヤカ	神奈川	レジェンズ
3002	門脇 翠	カドワキ ミドリ	東京	東京パワーテクノロジー

ENTRY LIST [男子800m]

NO.	競技者名	競技者名カナ	都道府県	所属
3009	中村 大地	ナカムラ タイチ	茨城	茨城陸協
3010	樋口 光盛	ヒグチ コウセイ	大阪	大阪陸協
3011	佐藤 社一	サトウ ソウイチ	宮城	日本福祉大学

ENTRY LIST [女子800m]

NO.	競技者名	競技者名カナ	都道府県	所属
3007	岡田 海緒	オカダ ミオ	東京	MURC
3008	町田 瑠音	マチダ ルノン	東京	葛飾ろう高



【パラ陸上とは】

パラ陸上競技でよく耳にするのが「クラス分け」があります。ひとくちに「障がい」と言っても、腕や脚などの身体障がいや視覚や知的発達などの障がいなど部位や種類は様々です。また、同じ障がいでも、人それぞれ異なります。「クラス分け」は個々の障がいが競技に及ぼす影響をできるだけ小さくし、平等に競い合うために必要な制度です。パラ陸上競技でも障がいごとにクラスを細かく分けて競技しています。



挑め未来!

JPA
JAPAN PARA ATHLETICS

日本パラ陸上競技連盟
スローガン

【クラス分けの表示方法】

クラス分けは右記のような形で表示されます。

T53C

↓ ↓ ↓ ↓
① ② ③ ④

- ① 競技種類：走競技・跳躍競技のクラスを意味する「T」、投てき競技のクラスを意味する「F」がある。
T/Track：走競技（100m～マラソン）、跳躍競技（走り幅跳び、走り高跳び、三段跳び）
F/Field：投てき競技（砲丸投げ、円盤投げ、やり投げ、こん棒投げ）
- ② 障がいの種類：選手の主たる障がいの種類や競技形式を示す。
10番台：視覚に障がいのある立位競技者
20番台：知的に障がいのある立位競技者
30番台：痙性麻痺、筋直、協調運動障がいなどの特徴を示す脳原性の麻痺のある立位競技者及び車椅子や投てき台を使用する競技者
40番台：低身長、脚長差、切断（義足未使用）、関節可動域制限、筋力低下等の障がいのある立位競技者
50番台：脚長差、切断、関節可動域制限、筋力低下等の障がいのある車椅子や投てき台を使用する競技者
60番台：競技に義足を装着して出場する競技者

③ 障害の程度：障がいの程度に応じて0～9の番号が割り当てられる。基本的に番号が小さいほど障がいの程度は重くなる。

④ クラス・ステータス/Class Status：選手のクラス分け状況を示す。

N：New：過去クラス分けを受けた事がなく、競技前に受けなければならないもの
R：Review：クラスが確定しておらず、再度クラス分けを受ける必要のあるもの
C：Confirmed：クラスが確定したもの

* 詳細は日本パラ陸上競技連盟公式サイト内のクラス分け紹介でご確認ください。
<https://para-ath.org/sports/basic-knowledge>

種目	クラス	氏名	フリガナ	所属	都道府県	PB
女子 100m	T20 (知的障がい)	加藤 茜	カトウ アカネ	野村不動産ライフ & スポーツ	神奈川県	12.45
	T11 (視覚障がい)	白濱 顕子	シラハマ アキコ	ライオン事務器	山梨県	13.19
	T37 (脳原性まひ)	井門 結	イモン ユイ	聖カタリナ高校	愛媛県	15.10
	T37 (脳原性まひ)	吉川 琴美	ヨシカワ コトミ	AC KITA	東京都	15.07
	T47 (上肢障がい)	三須穂乃香	ミス ホノカ	ジュール	東京都	13.11
	T35 (脳原性まひ)	佐伯菜々美	サエキ ナナミ	帝京大学	東京都	17.81
	T61 (両足大腿義足)	湯口英理菜	ユグチ エリナ	JAL	東京都	17.14
男子 100m	T36 (脳原性まひ)	松本 武尊	マツモト タケル	AC KITA	東京都	12.03
	T47 (上肢障がい)	鈴木 雄大	スズキ ユウダイ	JAL	東京都	10.91
	T13 (視覚障がい)	福永 凌太	フクナガ リョウタ	日本体育大学	滋賀県	10.86
	T20 (知的障がい)	臼木 大悟	ウスキ ダイゴ	KAC	長崎県	10.73
	T64 (片足下腿義足)	池田 樹生	イケダ ミキオ	HDY ONE	東京都	11.97
	T45 (上肢障がい)	三本木優也	サンボンギ ユウヤ	NTT 東日本	東京都	10.90
	T13 (視覚障がい)	久野竜太郎	クノ リュウタロウ	シンプレクス	岐阜県	10.99

マスターズ1500m

男子 オープン 7月6日(日) 15:50

女子

女子 オープン 7月6日(日) 16:00

男子

ENTRY LIST (男子)

1組

NO.	クラス	競技者名	都道府県	所属	2024年度ベスト記録
2000	M40	神原 哲士	宮崎	Nexus	4:04.13
2001	M45	平田 繁聡	埼玉	埼玉マスターズ	4:17.69
2002	M40	大関 喜幸	群馬	SUBARURC	4:07.75
2003	M45	西郷 孝一	岩手	矢巾町陸協	4:13.77
2004	M45	森下 久	鳥取	東伯郡	4:08.55
2005	M40	後藤 拓馬	山形	鶴岡市陸協	4:01.40
2006	M50	白石 真一	神奈川	川崎市陸協	4:20.84
2007	M40	大西 毅彦	京都	OBRS KYOTO	4:00.14
2008	M50	山中嶋 秀和	静岡	STFC	4:15.51
2009	M40	新井 一匡	埼玉	CRC	4:07.19
2010	M35	村澤 智啓	長野	長野市駅伝部	3:59.59
2011	M35	丸山 翔平	兵庫	Bacchus	4:01.60
2012	M40	谷口 大樹	三重	大台陸上クラブ	4:04.98
2013	M45	上嶋 秀太郎	東京	東京マスターズ	4:13.28

2組

NO.	クラス	競技者名	都道府県	所属	2024年度ベスト記録
2014	M70	田村 正憲	広島	マスターズ広島	5:43.20
2015	M70	田中 國彦	兵庫	ATHTRACK AC	5:39.57
2016	M55	大橋 真	神奈川	逗子市陸協	4:29.03
2017	M55	後口 洋史	埼玉	ルート846	4:32.09
2018	M55	田中 賢一	島根	松江市陸協	4:23.04
2019	M55	中野 哲也	愛知	庄内RT	4:37.05
2020	M60	土肥 正幸	長崎	長崎マスターズ	4:56.14
2021	M60	大平 敦郎	山形	鶴岡市陸協	4:49.20
2022	M60	石田 善彦	大分	大分マスターズ	4:45.46
2023	M55	佐藤 健	静岡	静岡陸協	4:37.14
2024	M65	松平 進	大阪	長居つながりRC	5:09.02
2025	M60	並木 律朗	静岡	静岡マスターズ	4:56.62
2026	M65	野澤 優嗣	千葉	千葉マスターズ	5:08.96

マスターズとは

世界的な長寿命化・高齢化に伴って年長者の運動に参加する割合も増加している。その中においてマスターズ陸上競技も年々盛んになってきている。国内統括団体である公益社団法人日本マスターズ陸上競技連合では本連盟が掲げる「ウェルネス陸上」をモットーとし「記録へのチャレンジ」や「仲間作り」をも視野に入れた活動を行っている。

年齢構成

世界マスターズ陸上競技協会(WMA)の規程では35歳以上の男女がマスターズとなっている。日本マスターズ陸上競技連合では満18歳から入会でき、5歳刻みで年齢グループが形成され同年代で競技ができるようになっている。

<競技クラス>

男性	女性	満年齢	備考
M24	W24	18歳から24歳	WMA 非公認クラス
M25	W25	25歳から29歳	WMA 非公認クラス
M30	W30	30歳から34歳	WMA 非公認クラス
M35	W35	35歳から39歳	
以下同様に5歳刻み			

※年齢基準競技会当日(複数日開催の場合は、競技会初日)の満年齢

ENTRY LIST (女子)

1組

NO.	クラス	競技者名	都道府県	所属	2024年度ベスト記録
2001	W45	会田 洋美	山形	山形マスターズ	5:18.08
2002	W35	植村 友美	神奈川	レジエンス	4:50.13
2003	W40	岩村 聖華	熊本	Y&I	4:40.40
2004	W40	鈴木 絵里	秋田	能代山本陸協	5:01.60
2005	W50	松木 千佳	大阪	ミスノ	5:12.00
2006	W45	米田 景美	京都	京都マスターズ	5:09.52
2007	W40	村田 夏希	熊本	SYSKEN	4:55.38
2008	W45	福田 由香人	青森	青森マスターズ	5:17.63
2009	W50	菅原 めぐみ	岩手	IWASPO 一AC	5:18.21

2組

NO.	クラス	競技者名	都道府県	所属	2024年度ベスト記録
2010	W55	川島 悦代	静岡	静岡マスターズ	5:33.82
2011	W55	谷元 光子	千葉	袖ヶ浦市陸上競技協会	5:57.77
2012	W55	武内 佳恵	滋賀	滋賀マスターズAC	5:20.37
2013	W70	谷口 圭子	滋賀	滋賀マスターズAC	6:16.90
2014	W55	児玉 由美	岩手	しらゆりレディースクラブ	5:41.72
2015	W60	新堂 祥子	愛媛	愛媛陸協	5:48.23
2016	W60	古家 雅恵	滋賀	滋賀マスターズAC	5:34.50
2017	W55	藤尾 美佳	神奈川	神奈川マスターズ	5:25.69
2018	W60	高野 裕子	神奈川	慶應陸上倶楽部	6:06.01
2019	W60	横山 龍子	愛知	AC一宮	5:48.00